

<英文法超基礎⑧7> Lv.★★★★☆☆ 不定詞⑥

① 原形不定詞 (← L④2)

たのつかない不定詞 [= 動詞の原形だけのもの] を **原形不定詞** という。以下のタイプがある。

① 使役動詞 - 「O + 原形V」で 「1. _____」

(2. _____) + O + V

His words **made** me **feel** uneasy. 「彼のことは私を不安に**させた**」

☆ 受動態にすれば (3. _____) になるが、(4. _____) は受動態にしない!

I **was made** to feel uneasy by his words. 「私は彼のことで不安な気持ちに**させられた**」

② 知覚動詞 - 「O + 原形V」で 「5. _____」

(6. _____) + O + V

I **heard** him **sing** a song. 「私は**彼が**歌うのを聞いた」

☆ (7. _____) + O + V の受動態は V が (8. _____) になる。

He **was heard** to sing a song by me. 「彼は私に**歌うのを**聞かされた」

<原形不定詞を用いた表現>

① (9. _____) : 「10. _____」

All you have to do is (to) push the button. 「あなたはそのボタンを**押すだけ**
= You (11. _____) push the button. **でよい**」

② (12. _____) : 「13. _____」

He **does nothing but** watch TV. 「彼は**テレビを見てばかり**いる」

② 独立不定詞

熟語として覚える!

副詞的用法のひとつで、文全体を修飾する。この用法を **独立不定詞** と呼ぶ。

① (14. _____) : 「15. _____」

② (16. _____) : 「17. _____」

③ (18. _____) / (19. _____)

「20. _____」

④ (21. _____) : 「22. _____」

⑤ (23. _____) : 「24. _____」 / ⑥ (25. _____) : 「26. _____」

⑦ (27. _____) : 「28. _____」

⑧ (29. _____) : 「30. _____」

⑨ (31. _____) : 「32. _____」 など

3 be to 不定詞

be動詞+to不定詞は「33.

③は少し例外
が基本的な意味!

①予定 ②運命 ③可能 ④意志 ⑤義務の5つの意味がある!

①「**確定的な予定**」←公式の行事・計画・予定などに使われる＆新聞の見出しでよく使う!

The president is to visit Japan in May. 「大統領は5月に来日する予定だ」

→ 硬い、書き言葉的な表現。政治日程などの予定に使われる。

President to visit Japan. 「大統領、来日へ。」

→ 新聞の見出しで使われる場合、be動詞と冠詞は省かれるのが普通。

②「運命」: 「34.」←必ず「35.」で使われる!

She was never to return home. 「彼女は故郷に戻ることは二度となかった」

→「故郷に帰ることはないことになっていた」→そういう運命だった

③「可能」←(36.)で使われるのがほとんどなので「37. 」を表す。

My wallet was not to be found. 「私の財布は見つからなかった。」

→ (38.)になることが多い!

☆ "be + not + to be Vp.p." を見たら、'39. 「を意味する!」と予測

④意志 ← (40.)内では使われる: 「41.

If you are to succeed, you have to work harder.

「もし成功するつもりなら、あなたはもっと努力しなければならない」

→ 説教的なニュアンスになる

⑤義務←主語は必ず(42.)で、相手に「指示・命令する」イメージ!

You are to finish the report by tomorrow.

「明日までにレポートを終わらせておくように。」

2 補足

⑩ (43.) : 「44.

⑪ (45.) : 46.

⑫ (47.) : 48.

③ (49.) : 50.